

# 第1学年 音楽科学習指導案

日 時 平成16年10月5日(火) 5校時  
学 級 大野村立大野第一中学校1年B組  
(男子14名 女子14名 計28名)  
場 所 音楽室  
授業者 教諭 佐藤玲子

1 題材名 「曲の特徴を生かした表現の工夫」～合唱コンクールに向けて～  
教材名「カリブ夢の旅」 平野祐香里 作詞 橋本祥路 作曲

## 2 題材について

### (1) 教材性や指導価値について

本題材は、学習指導要領〔第1学年〕2内容、A表現の(1)表現の活動を通して指導する事項であるキ「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること。」をねらうものである。曲の特徴とは、構成要素(音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式など)と学習指導要領〔第1学年〕2内容、A表現の(1)表現の活動を通して指導する事項であるク「速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること」に示されているように表現要素(速度や強弱など)による構造的側面、雰囲気、イメージ、曲想、美しさ、豊かさといった音楽固有の感性的側面が絡み合って生み出されている。本題材では、その中の構成要素に注目し取り上げていくことによって曲の特徴を生かした表現の工夫を探っていきたい。

今回教材として取り上げた「カリブ夢の旅」は、今年度合唱コンクールの1学年課題曲である。中学1年生の合唱教材としては比較的歌いやすく、取り組みやすい教材である。前半部は、穏やかなテンポに乗って順次進行をした旋律で作られている。後半部は速いテンポで跳躍音やシンコペーションが使われている。そのことが曲に躍動感を与え前半部分と後半部分の曲の特徴がとらえやすい曲と考えた。表現の工夫をすることが初めての生徒にとっては、これから表現の幅を広げていく活動の初期段階にふさわしいと考え、選曲した。

### (2) 生徒の実態

生徒は表現、鑑賞を問わず音楽活動に比較的関心が高い。特に女子の合唱に対する意欲が高く、歌うことに喜びを感じる生徒が多い。今までの表現活動は合唱活動がほとんどであった。八長調の簡単な楽譜、音符、休符、記号などについては四分音符、八分音符、スラー、タイなど、音楽の諸要素についての学習は行ってきたもののまだ完全に定着していない。前項でも述べたように、表現活動に対して意欲的な生徒は多いものの、これまでの題材においては表現の工夫といってもほとんどが楽譜に明記されている強弱や速度、あるいは感覚的なものによるものだけにとどまっている。つまり音楽の豊かさや美しさを感じ取ることや創造的に表現する能力については未熟である。この教材での学習を通し、楽曲の構造的側面への理解を深め、感性的側面との関わりから表現の工夫をする力をつけていきたい。

## 3 題材の目標

曲の特徴を感じ取り、表現を工夫することができる。

## 4 題材の評価規準「観点」

### (1) 音楽への関心・意欲・態度

- ・ 楽曲に関心を持ち、意欲的に聴取、朗読をしようとしている。
- ・ 全体の響きを感じ取って合唱表現をしようとしている。

- (2) 音楽的な感受や表現の工夫
  - ・ 特徴的なリズムに気づき, 表現を工夫している。
  - ・ 曲の特徴, 全体の響きを感じ取り, 表現を工夫している。
- (3) 表現の技能
  - ・ 自分の声部の響きを考えながら, 歌っている。
- (4) 鑑賞の能力
  - ・ 曲全体の雰囲気を感じ取って聴いている。
  - ・ 混声合唱の響きを感じ取って聴いている。

## 5 題材の指導計画・評価計画

題材の指導計画・評価計画は以下の表に示すとおりである。(本時：4 / 5時間)

学習項目	時数	学習活動における評価規準			
		音楽への関心・意欲・態度	音響的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
CDの聴取, 歌詞の朗読で曲のイメージをつかむ。	1	楽曲に関心を持ち, 意欲的に聴取, 朗読をしようとしている。			曲全体の雰囲気を感じとって聴いている。
混声合唱の響きを感じながら, 自分のパートの音を覚える。	2			自分の声部の響きを考えながら, 歌っている。	混声合唱の響きを感じ取って聴いている。
曲の特徴をとらえ, 表現を工夫する。	1 (本時)		特徴的なリズムに気づき, 表現を工夫している。		
表現の拡充	1	全体の響きを感じ取って合唱表現をしようとしている。	曲の特徴, 全体の響きを感じ取り, 表現を工夫している。		

## 6 本時について

### (1) 本時のねらい

リズムが曲に特徴を生み出していることに気づき, どのような歌い方を工夫するとよいか考えながら歌うことができる。

### (2) 本時の評価規準と具体的評価規準

評価規準	評価場面 (方法・用具)	具体的評価規準		「努力を要する生徒への手だて」
		A:「十分に満足できる」	B:「おおむね満足できる」	
曲の特徴を感じ取り, 表現を工夫することができる。	教師による観察 挙手による確認 学習プリント	特徴的なリズムに気づき, それがなぜなのかその内容を理解している。	特徴的なリズムに気づき, それがなぜなのか気づいている。	手拍子などを使い, 具体的に説明を加えながら理解させる。
		表現の工夫を生かしながら発表している。	表現を工夫しながら発表している。	工夫できる部分を具体的に示し, 説明を加えながら理解させる。

(3) 授業展開案

	学習内容	学習活動	評価規準・留意点等
導入 4分	1 既習曲の合唱 2 学習課題の把握 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             弾むリズムの正体を探り，工夫しながら歌おう。           </div>	「カリブ夢の旅」を合唱する。 学習課題を把握し，学習プリントに記入する。	正しい姿勢と発声でのびのびと歌わせたい。 課題について説明する。 学習シート配布
展開 41分	3 課題追求1 ・ 個人で考え，学習シートに記入する。 ・ シンコペーションが使われていない場合のCDを聴く。 4 課題追求2 ・ グループごとに練習する。 5 学習状況の把握 ・ グループ発表 6 課題追求 ・ 練習を深める	「キャプテン キッド～」からの弾む感じがなぜかを考えシートに記入する。 ・ 伴奏の感じが違う ・ 音の高さが高い ・ 付点のリズムが多用されている ・ 音が跳んでいる シンコペーションが使われていない楽譜，CDを聴き，もとの楽譜と比較をし，学習シートに記入する。 弾んだ感じを出すためにどのように表現を工夫すればよいか話し合い練習する。 他グループの演奏を聴き，自分たちのグループでも工夫できそうな点はないか把握する。 さらに練習をし，表現を深める。	楽譜を見たり，歌ったりしながら追求させたい。 【評価の観点：音楽的な感受や表現の工夫】 具体の評価規準：特徴的なリズムに気づいている。 評価方法：行動観察，学習シート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【努力を要する生徒へ】</b>              特徴的なリズムに気づけない生徒には手拍子などを使い，具体的に説明を加えながら理解させる           </div> 掲示用の楽譜，シンコペーションが使われていない音源 【評価の観点：音楽的な感受や表現の工夫】 具体の評価規準：曲の特徴を生かした表現の工夫をすることができる。 評価方法：行動観察，学習シート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【努力を要する生徒へ】</b>              工夫できる部分を具体的に示し，説明を加えながら理解させる。           </div>
終結 5分	7 まとめの合唱 8 学習シートの記入	練習したことを意識して歌う。 本時の自己評価をカードに記入する。	